



糠内学園教育目標

次代を拓く

協働的に学ぶコミュニケーション能力の育成

毎月19日は「幕別町教育の日」

糠内学園糠内中学校

学校通信

第6号（9月号）

令和5年9月19日

校内意見発表会で全員が発表しました

9月8日（金）に行われた意見発表会。夏休みから取り組んだ学習の成果を発揮し、自分の考えをまとめ、聞き手に伝わるように表現することができました。練習の成果が表れた発表だったと思います。最優秀に彩里さん（町代表）、優秀賞に葵さん、寧音さんが入賞しました。

通常、他校の意見発表会ではクラスから代表が選ばれて校内大会を実施し、町内大会へと駒を進めていきます。しかし、糠内中学校は全生徒が校内大会として発表の機会を得ます。11人の発表それぞれに個性が光りました。何気ない日常を切り取って深く考えることで見方考え方が変わることがあります。そして自己を確立することにつながっていくこともあります。なかなか原稿が書けなかったことも、ステージの上で足や声が震えた経験も、目に焼き付けられたステージの上からの景色と共に一人一人の身体中にしっかりと記憶されたことと思います。きっと次の経験に活かされます。中学校在籍中の三年間で積み上げられた経験は確実に成長につながっています。

次のステップでも、身に付けた力が発揮されることを願っています。



順	学年	氏名	演題
1	2年	佐藤 綾人	熱中症
2	1年	田村 洸士郎	スマホの正しい使い方
3	3年	高木 音寧	私の光
4	2年	後村 理央	友だちの大切さ
5	1年	高木 大河	好きなことを通して考えたこと
6	2年	山本 美桜	それぞれの推し
7	3年	田村 葵	チャレンジすること
8	1年	森本 衣緒里	大きな出会い
9	2年	六郎田 侑真	農業の問題
10	1年	杉本 結来	本当の自分について
11	3年	森本 彩里	家族

救急救命講習 7日(木)に幕別消防署から講師を招き

救急救命講習を実施しました。人命救助のための手順を理解し、実技練習により全員が胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用方法をマスター。これでいざという場面に出くわしても大丈夫でしょう。3年間積み重ねるととても上手にできるようになるものだ、と、3年生の姿をみて感心しました。



防災学校 12日(火)は糠内小学校と合同で役場防災課の

方々を講師に迎え、自然災害等に備える考え方を学び避難所の設営を体験しました。特に、防災クロスロードで考え方の違いを目の当たりにし、家族での話し合いがとても重要であることに気づかされました。いざというときに備えて、ぜひご家族でお話してください。



文化祭特別時間割開始

30日の本番に向けて集中的な取組が始まりました。合唱、演劇、委員会活動と毎日一人何役もこなしています。当日の成功に向けて、全校生徒が一丸となって頑張りますので、応援よろしくお願いいたします。特に、健康面にご留意ください。疲れが溜まっていくと思います。コロナ、インフルエンザが流行中です！

10月行事予定

2日	文化祭振替休業	12日	3年生学力テスト総合B
3日	通知表配付、教育相談		性教育
4日	町内意見発表、英語暗唱大会	16日	二計測・視力検査～20日
5日	学園マラソン記録会、教育相談	17日	十勝英語暗唱大会
6日	生徒会役員選挙	18日	生徒会活動日
10日	教育相談	25日	生徒総会
11日	職員会議・生徒会活動日		帯広大谷オープンスクール
		26日	2年職場体験学習～27日

「家 族」

みなさんは、「家族」という言葉を聞いて一番最初に思い浮かべることは何ですか？人によって思い浮かぶことは違うと思います。「身近な存在」や「安心感がある」など様々なイメージを持つことができます。私のイメージは「絆」と「味方」の二つのイメージが強く思い浮かびます。この二つが私の中で強く感じるのには家族が誰一人欠けてはならない存在だと私自身が強く思っているからだと思います。一人一人が支え合うことで一つの家族という輪が成り立ち存在していると思います。一緒に笑ったり、話したりするなど小さな事で共感し合うことを大切にすることが大事だと私は思います。



私は、家族から支えられていると思うことと感謝を大切にすべきだと思います。そこで私の今までの人生の中で家族に支えられていると感じたことを三つほど紹介します。

一つ目は、ほぼ毎年行われる運動会です。運動会では、特にリレーと徒競走に私は力を入れています。そこで家族の支えを感じるのには家族からの遠くでも聞こえる声援です。正直恥ずかしいと思うこともあるけれど毎年頑張る力になっており、徒競走では最初の出だしが遅れてしまっても家族の声援が聞こえてくるとまだ自分は頑張れるとリレーの時もそう感じ最後まで応援してくれている家族のためにはと思いその時に家族の大切さを初めて感じ大切にしようと思いました。

二つ目は、何事にもチャレンジすることを学んだことです。私は、自分から新しいことに挑戦するタイプではなく、やったことのある事の方をすぐ選びがちです。しかし母に連れて行ってもらった工作体験で自分の考えが変わりました。今まで工作などの作ったりする作業が楽しいとは思っていなかったのが連れて行ってもらった工作体験により自分なりのアレンジを考えたりチャレンジすることが楽しいと思えるようになりました。

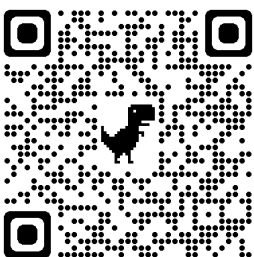
三つ目は、何時でもそばにいてくれ心の支えになってくれていることです。私は一人でいると不安になり心細くなることがたまにあります。特に誰も悪くないのに自分が悪い人ではないかなどと自分自身を責めてしまうこともときどきあります。そんな時に落ち着かせてくれるのが母親です。「一緒にいるよ」や「大丈夫」などちょっとした言葉に私はとても救われていると感じています。

この三つの場面から私はより家族への思いが強くなったと思います。家族にとっては、あまり意味がないように思っているかも知れないけれど、私にとっては前よりも成長させてもらっていると改めて感じました。

このように私とは違う場面で家族の支えを感じたりした人もいるかもしれません。なかなか身近な家族のことを深く考えたり、印象に残っていることなど考えたりしないと思います。でも、たまに家族のことを考えたりするのもよいと思います。

私は、日常の中で家族という存在を深く考えたりすることは今までありませんでした。でも、この機会に家族について考えてみたら様々な場面で家族に支えられていることを実感しました。私は、これから先もずっとお世話になったり相談に乗ってもらう事もあると思うし、迷惑を掛けるときがあるかもしれない。そんな時でも、家族への感謝の気持ちを大切にしていきたいと思います。

－9月7日 校内意見発表会「最優秀」作品－



糠内中学校HP内のブログもご覧ください。意見発表会をはじめ、日々の生徒の様子をお伝えしています。

